

福島第一原子力発電所現地確認報告書

1 確認日

令和2年8月18日（火）

2 確認箇所

定検用機材倉庫

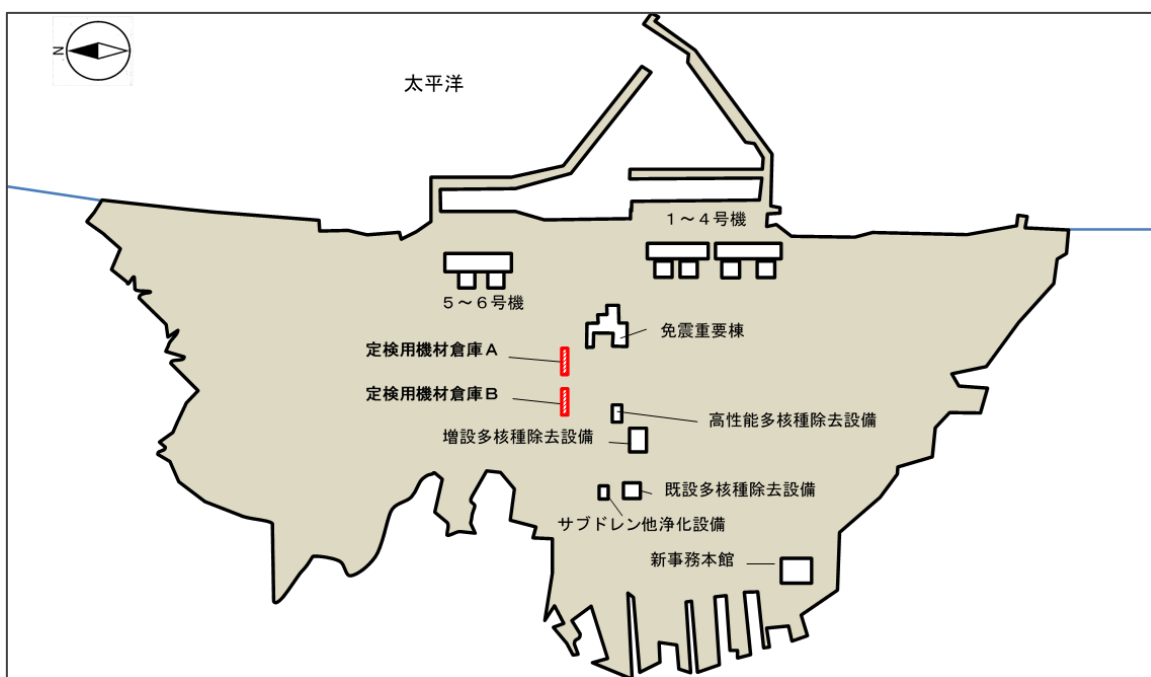
3 確認項目

1 / 2号機共用排気筒減容作業の状況

4 確認結果の概要

1 / 2号機共用排気筒については令和元年8月1日から耐震上の裕度向上を目的に高さ約120mの排気筒上部約60mの解体作業が開始され、令和2年5月1日までに作業は終了した。解体された筒身については仮置き場にて保管されていたが、発電所構内の定検用機材倉庫で小割切断し、コンテナへ収納する作業が予定されていることから状況を確認した。（図1、写真1）

- ・解体された筒身（全19ブロック）のうち1ブロックが定検用機材倉庫Bに搬入されており、小割切断に向けた準備作業が行われていた。（写真2）
- ・東京電力によると、解体された筒身を8分割に切断し、その一片をさらに3分割した後にコンテナへ収納するとのことであった。



(図1) 福島第一原子力発電所構内概略図



(写真1)
定検用機材倉庫外観
(南東側から撮影)



(写真2-1)
定検用機材倉庫B内部の状況
(東側から撮影)



(写真2-2)
解体された筒身の保管状況

- 5 プラント関連パラメータ等確認
本日確認したデータについて、異常な値は確認されなかった。